

樽前山

○火山性地震活動

2013年7月中旬より開始した山頂西方における活発なA型地震活動は、2014年に入っても継続している。また、8月頃より認められるようになった、山頂南西の社台台地下における地震活動も継続している。山頂西方の地震活動の震源深さは海面下2~4kmを中心としているのに対し、社台台地下における地震活動はやや深く海面下5~8kmに震源が推定される。社台台地下ではこれまでも散発的に地震活動が見られているが、半年以上に及び活動が継続したことはなく、山体西側の地震活動とも関連した活動と考えられる。

